

改革・改善サイクルに係る対応方針

学校教育部

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
児童生徒支援室	その他サービス	セルフわらしべ乗馬体験事業	・他地区との公平性。	改善	より多くの子どもが参加できるなど、他地区との公平性を保つことができるように、馬とのふれあい体験活動プログラムのあり方等について、障害者社会就労センター（セルフわらしべ）と検討していく。	現行プログラム等の見直しを含めた検討を行う。	
学務課	補助金事業	私立幼稚園保育助成事業	・取り組み方策は評価。 ・就園奨励費補助金を含め総合的に負担の公平性を検証し見直しを。	改善	就園奨励費補助金も含めた保護者負担を総合的に検証し、今後のあり方について検討を行う。	負担の公平性を図る観点から制度の見直しを行う。	
教育指導課	その他サービス	「まなびング」サポート事業	・成果指標は、実施率や活用率ではなく、学力向上に関するものであるべき。	現状のまま継続	まなびングサポーターによる学習指導の支援活動が、児童生徒の学習環境を整える一つであることを踏まえ、大学生等のサポーターの拡充に取り組むとともに、小中学校での活発な事業実施を推進し、学力向上につなげていく。		

所管課	グループ	事務事業名	評価員コメント	今後の方向性	具体的な取り組み内容	改善目標	備考
教育指導課	その他サービス	英語教育推進事業	・成果指標は、実施率や活用率ではなく、学力向上に関するものであるべき。	現状のまま継続	英語教育指導助手等(JTE、NET、英語教育専門員)の活用による小学校からの外国語活動や中学校の授業外での英語指導に取り組むとともに、中学校区での暗唱大会を実施するなど小中学校間の連携を図った取組を推進し、児童・生徒が英語に興味・関心を持ち「英語の授業が楽しい」と感じられるような環境を整え、英語によるコミュニケーション能力の育成に努める。		
教育指導課	その他サービス	学校支援社会人等指導者活用事業	・活用していない学校の公平性は。 ・学校園の活用率が低く、今後の改善策、課題を早急に検討する必要あり。	現状のまま継続	学校園に対し、多様な人材を学校教育に活用するという事業目的と指導者登録者の周知を強化するとともに、子どもの興味・意欲を引き出せるよう、学校園での活発な活用を推進する。		
教育指導課	その他サービス	基礎学力向上プロジェクト事業(教育指導課)	成果指標は、実施率や活用率ではなく、学力向上に関するものであるべき。	現状のまま継続	児童・生徒の学力向上に効果がある自学自習力支援システムを、授業や朝学習・家庭学習等において有効活用するとともに、放課後自習教室の参加率を向上させることで、一層の学力向上に努める。		
教育指導課	その他サービス	小中連携事業	一次点検内容について、特に異論なし。	現状のまま継続	「学習規律の定着」を図るとともに、「学びの連続性の確立」に向けた研究に取り組む。		